



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン・アゼルバイジャン：両国間国境の閉鎖 (4月4日付「ゼルカロ」紙)

1. 4月3日、イランがアゼルバイジャンとの国境上にある税関を閉鎖した。これにより両国国境を挟んで多数の貨物車や乗用車が列をなし、アゼルバイジャン南部のアスタラ、レリク両州では数百人に及ぶアゼルバイジャン及びイラン国籍の通行人が足止めされ、越境の許可を求めて待機している。国境閉鎖が解除される日時は不明。
2. この状況が長引けば、待機中の通行人たちが大規模な抗議行動に訴える可能性があり、場合によっては不測の事態に発展することも考えられる。又、今般の動きを受け、アゼルバイジャン南部諸州の住民には同様が広がりつつある。
3. 在アゼルバイジャン・イラン大使館は国境閉鎖の事実を認め、この理由を気象条件の悪化に関連した一時的措置としているが、これは全く説得力がない。他方、アゼルバイジャン国境警備隊は、これに関するコメントを控えている。
4. 最近数ヶ月間、イランからアゼルバイジャンへの越境者の数が急増している。この背景として、あり得べき米国による対イラン軍事行動を指摘する向きが少なくない。